

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月02日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000066"/>	整理番号 <input type="text" value="11557"/>	担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>	
表 題	<input type="text" value="非同期型高速向流クロマトグラフ装置"/>			
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="機械・加工"/>	<input type="text" value="電気・電子"/>
適用製品	<input type="text" value="タンパク質、酵素、天然物由来生理活性物質、生体成分、有機合成化合物"/>			
目 的	<input type="text" value="物質の分離・精製の過程で、液-液分配で分配係数の近い物質どうしの分離、高速液体クロマトグラフィーなど従来のカラムクロマトグラフィーの充填剤に吸着あるいは相互作用により変性してしまう物質の分離を試料物質を損失することなく実施できる向流クロマトグラフ装置を提供する。有機溶媒-水系二相溶媒のほか水性二相溶媒の使用も可能なため、タンパク質分離も行うことができる。"/>			
技術概要	<input type="text" value="コイル状カラムが公転と共に自転(惑星運動)する従来の高速向流クロマトグラフ装置の自転方向(順方向)とは逆方向の自転を行うカラムを順方向の自転をするカラムと隣接させて公転軸から一定の距離に交互に計4つ(順方向カラム2つ及び逆方向カラム2つ)を配置させ、送液チューブを単一ライン構成で配管してねじれを解消させた汎用型高速向流クロマトグラフ装置の入口側と出口側のカラムの下部に新たに考案した回転シール装置を設置し、公転速度と自転速度を非同期で回転させることを可能とした。回転シール装置は高速回転による液漏れを防止するため、回転接続部に二重の回転シールを配置し、側面にも回転シールを取り付ける構造とした。カラムに偏心コイル、水性二相溶媒にポリエチレングリコール1000/リン酸二カリウム水溶液を用い、カラムを公転速度より速い自転速度で順方向に回転した結果、良好なタンパク質分離が達成された。"/>			

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな)	<input type="text"/>		
氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp